

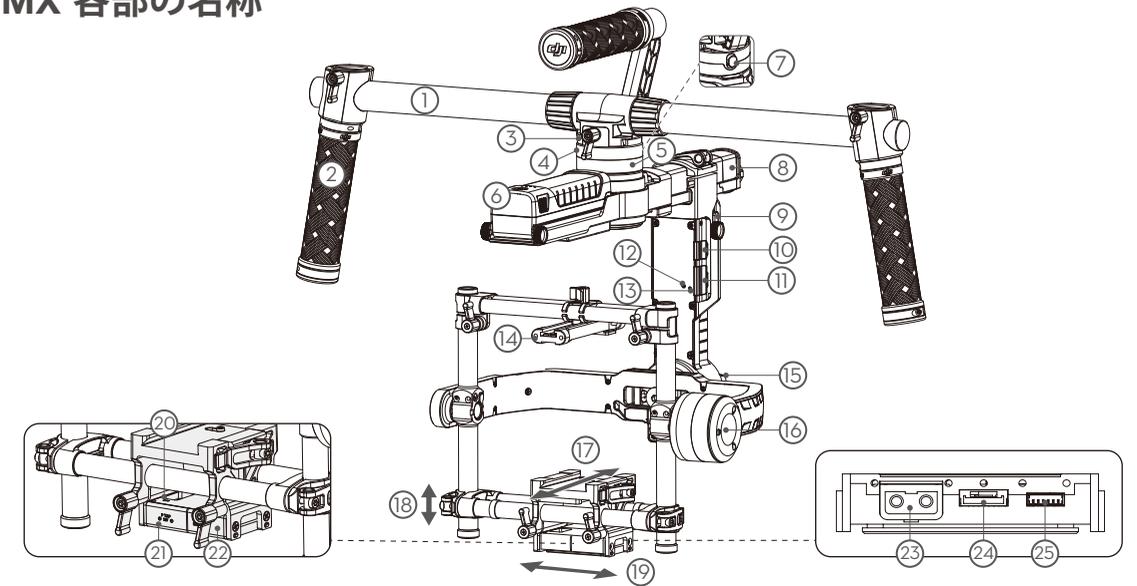
RONIN-MX

クイックスタートガイド

V1.0

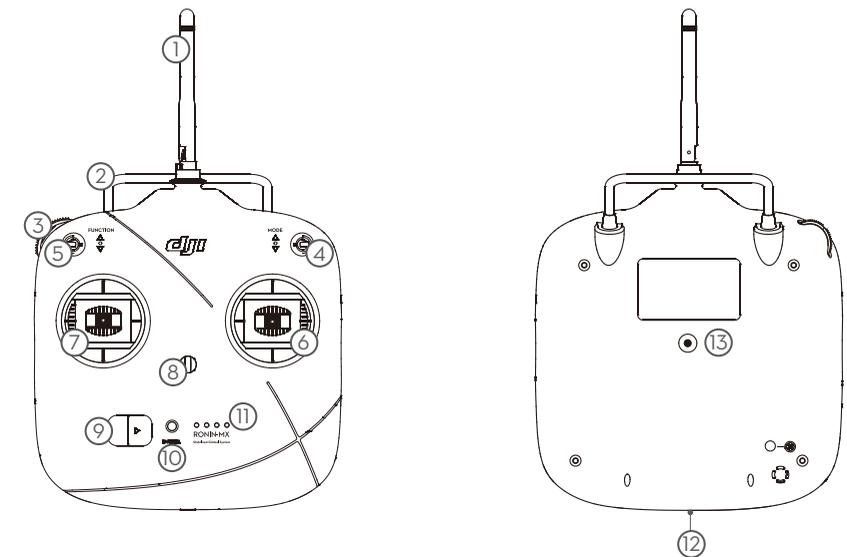


Ronin-MX 各部の名称



- | | | |
|------------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 1. トップハンドルバー | 11. USB ポートおよび CAN1 バスポート | 21. P-TAP アクセサリ電源ポート |
| 2. サイドハンドル | 12. バインドボタン | 22. USB アクセサリ電源ポート |
| 3. ジンバルコネクター | 13. ジンバル LED インジケータ | 23. P-TAP ポート(背面) |
| 4. CAN2 バスポート | 14. カメラ上部取り付けプレート | 24. DJI Lightbridge ポート(背面) |
| 5. パンモーター | 15. ロールモーター | 25. GCU ポート(背面) |
| 6. DJI インテリジェントバッテリー | 16. チルトモーター | |
| 7. 安全ロック | 17. 前後調整スライダー | |
| 8. パン調整スライダー | 18. 垂直チルト調整スライダー | |
| 9. インテリジェントバッテリー用配電盤取り付けプレート | 19. ロール調整スライダー | |
| 10. D-BUS レシーバーポート | 20. IMU ポート | |

送信機



- | | | |
|--------------|-------------------|-----------------------------|
| 1. アンテナ | 6. 右スティック | 11. バッテリーレベルインジケータ |
| 2. 持ち運び用ハンドル | 7. 左スティック | 12. バッテリー充電および RC Assistant |
| 3. 左ダイヤル(予備) | 8. 首かけストラップの取り付け口 | ポート (Micro USB ポート) |
| 4. モードスイッチ | 9. 電源スイッチ | 13. 予備ポート |
| 5. 機能スイッチ | 10. 電源インジケータ | |

RONIN-MX

RONIN-MX

クイックスタートガイド

1 はじめに

- DJI Assistant アプリをダウンロードしてインストールします。
App Store で「DJI Assistant」を検索し、iOS のインストール手順に従ってください。Google Play で「DJI Ronin™」を検索し、Android のインストール手順に従ってください。
- Ronin-MX の使用開始前に、まず DJI インテリジェントバッテリーを必ず充電してください。インテリジェントバッテリーの電源ボタンを 1 回押しすと、現在のバッテリーレベルが表示されます。さらに1秒間長押しして電源をオン/オフします。
- 送信機の電源スイッチを右にスライドさせて電源を入れます。バッテリーレベルインジケータが、現在のバッテリーステータスを表示します。低電圧警告音が発生する場合は、Micro USB ポート経由で、バッテリーを充電してください。



DJI Assistant

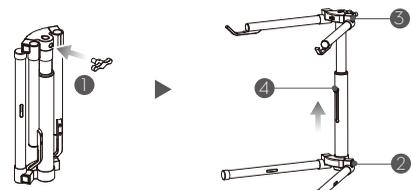


低い ← バッテリーレベル → 高い

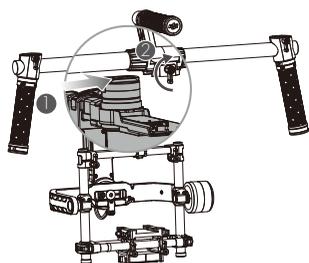
! iOS 7.1 以上または Android 4.3 以上を搭載したモバイル機器を使用してください。

2 Ronin-MX の組み立て

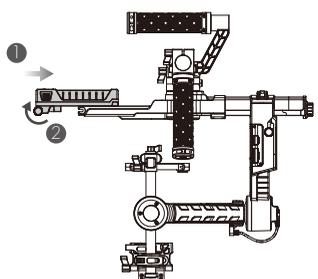
- 図のようにチューニングスタンドを広げます。ノブを締め付けます。下部の脚の外側にあるボタンを押し、脚を下向きに回してスタンドから離します。次に、上部サポートアームの外側にあるボタンを押して引き上げ、スタンドから離します。垂直サポートにあるボタンを押して上側にスライドし、スタンドを拡張します。
- ハンドルバーの組み立て。
トップハンドルを両側にバーを取り付け、グリップネジを締め付けます。バーにグリップを取り付け、好みの位置にロックします。ハンドルアセンブリをチューニングスタンドに置きます。



- Ronin-MX をハンドルに取り付けます。ジンバルをハンドルバーに水平にスライドさせます。安全ロックがかかった合図である、カチッという音がするまでノブを締め付けます。

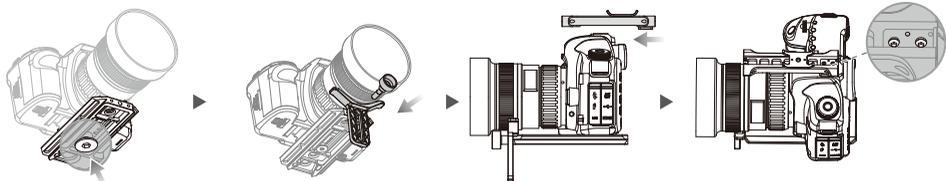


- DJI インテリジェントバッテリーを Ronin-MX に取り付けるには、バッテリーの蝶ネジを緩めて、ジンバルに直接スライドして差し込みます。蝶ネジを締め付けます。



3 カメラの搭載プレートへの取り付け

- カメラを搭載プレートに取り付けてネジを締め付けます。
- レンズサポートを搭載プレートに取り付けます。レンズのサポートに上向きの力を加えて、ネジを締め付けます。
- カメラ上部搭載プレートをホットシューを通してカメラ上部に取り付け、ネジを締め付けます。



! 上記手順はほとんどのカメラに当てはまります。RED または ARRI カメラを取り付ける際は、適切なカメラアクセサリを使用する必要があります。

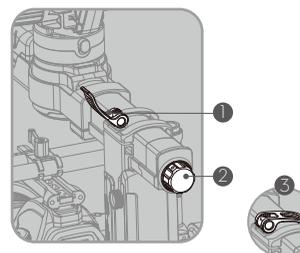
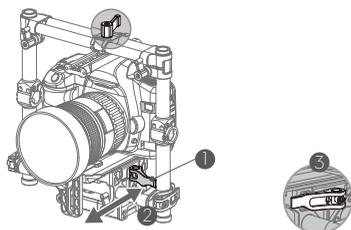
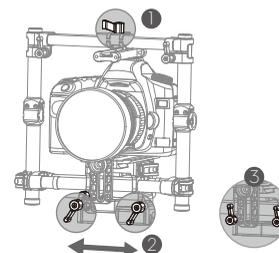
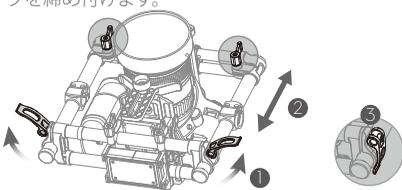
4 カメラの Ronin-MX への取り付け

- 取り付けプレートをレシーバーに、安全ロックがかみ合うまでスライドさせます。
- カメラ上部取り付けプレートに合うようにクロスバーの垂直位置を調整します。カメラのだいたいのバランスが取れたら、カメラベースのサイドクランプを締め付けてノブをロックします。



5 バランス調整

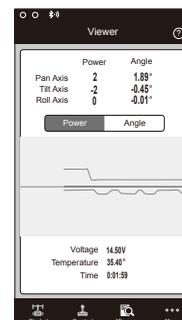
- 垂直チルトのバランス調整
カメラのレンズが上を向くようにチルト軸を回転させ、上部クロスバーの 2 つの垂直方向の調整タブおよびロックノブを緩めます。カメラを離れた時にカメラが上向きにくるまで、カメラ取り付けクロスバーを前方または後方にゆっくりスライドさせます。タブを閉位置に掛け戻し、ロックノブを締め付けます。
- ロール軸のバランス調整
3 つのロックノブを緩めてロール軸が水平になるまでカメラを左右にスライドさせ 3 つのロックノブを締め付けます。
- チルト軸の奥行きバランス調整
サイドクランプを開いてクロスバーのロックノブを緩め、チルト軸が水平に保たれるまでカメラを前方または後方へスライドさせ、サイドクランプとロックノブを締め付けます。
- パン軸のバランス調整
パン軸のクランプを開いてノブを回し、アセンブリをスライドさせます。バランス調整が完了したらクランプを締め付けます。



6 DJI Assistant アプリとのペアリング

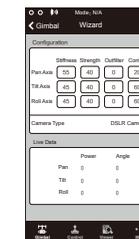
- Ronin-MX の電源を入れます。モバイル機器の Bluetooth をオンにし、DJI Assistant アプリを起動します。
- DJI Assistant アプリ内でモバイル機器を Ronin-MX に接続します。
- ビューアページでバランスを確認します。特定のモーター軸の電力が 10 より大きい場合は、カメラを再度バランス調整してください。

! 初めて Ronin-MX を使用するときはアクティベーションが必要です。そうしないとジンバルが作動しません。Ronin-MX をアクティブ化するには、モバイル機器をインターネットに接続し、DJI Assistant アプリの [More] ページに進み、[Activate] ボタンをタップします。



7 地上での Ronin-MX の使用

- DJI Assistant アプリのチューニング
① チューニングスタンドに置いた Ronin-MX と適切にバランス調整されたカメラを使用し、[カメラタイプ] をタップして DSLR カメラまたは RED カメラを選択します。
② プリーフェースモードおよび SmoothTrack のオン/オフを切り替え、必要に応じて制御速度を調整します。
! Ronin-MX を有効化し設定するのに、PC/MAC用の DJI Assistant ソフトウェアを使用することもできます。詳細については、ユーザーマニュアルを参照してください。



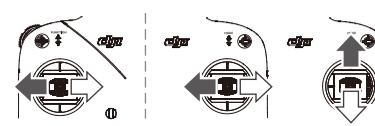
- 送信機の Ronin-MX への接続
① Ronin-MX の電源を入れます。Ronin-MX の埋め込み型 Ronin バインドボタンを尖った物で 1 回 押します。
② 送信機の電源をオンにします。ジンバルの LED が緑に点灯すれば、送信機と Ronin-MX が正常にバインドされています。



- 送信機操作
① 機能スイッチ:
i. 次の位置により SmoothTrack の速度を選択します。
ポジション 1: 高速
ポジション 2: 通常
ポジション 3: 低速
ii. 機能スイッチを素早く上下に 3 回フリップすることによりモーター強制終了を有効化/無効化します。
- ② モードスイッチ: SmoothTrack の切り替え
ポジション 1: フリー, SmoothTrack オフ
ポジション 2: フリー, SmoothTrack オン
ポジション 3: センターにリセット, SmoothTrack オン



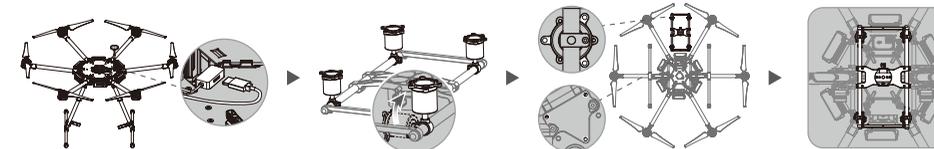
- ③ 左スティック: 左スティックの水平の動きでロール軸を制御します。
- ④ 右スティック: 右スティックの水平の動きでパン軸を制御します。右スティックの垂直の動きでチルト軸を制御します。



8 Matrice 600 での使用

Ronin-MX がアクティブ化され、カメラがしっかりと設置されてバランスが適切に調整されていることを確認します。Matrice 600 の中央フレームと拡張搭載キットから上下カバーが取り外されていることを確認します。

- Ronin-MX の Matrice 600 への取り付け
① 付属の CAN ケーブルの片方の端を Matrice 600 の CAN1 ポートに接続し、ケーブルのもう一方の端を中央フレームのアウトレットを通して引き出します。Matrice 600 の上下カバーを再度取り付けます。
② Ronin-MX の振動アブソーバ搭載プレートを調整してから、コネクタのネジを締め付けます。
③ 振動アブソーバを Matrice 600 の底部にロックノブを前に向けて取り付け、付属の 12 本の取り付けネジを締め付けます。



- ④ 振動アブソーバのジンバルコネクタにジンバルをスライドさせ、ロックノブをカチッという音が聞こえるまで締め付けます。
- ⑤ CAN ケーブルを Ronin-MX の CAN2 ポートに接続します。



! Ronin-MX が適切にしっかりと取り付けられ、すべてが正しく接続されて Ronin-MX の動きを妨げないことを確認します。

- DJI Go アプリのチューニング
① DJI GO アプリで [App Output Mode] を設定します: HD 出力をタップして [EXT Port] を無効化し、[HDMI] の割合が 0% 超になるように [Bandwidth Allocation] を調整します。[App Out Mode] を [HDMI] に設定します。
② [HDMI] > [カメラのタイプ] の順にタップして、ジンバルを設定します。

- C. Matrice 600 の送信機を使用して Ronin-MX を制御します。